



一昨年の東京芸術劇場での子どもたちの交流の様子の映像はこちらより
www.youtube.com/watch?v=BMSJTXbqeG4

保護者の方へ

東京芸術劇場と音楽で共生社会をめざす(一社)エル・システムジャパンは、都内の聴覚や視覚に障害のある子どもたちを中心としたコーラス・グループ活動を、一昨年より始めました。開かれたインクルーシブなコーラス隊を作ることを目指しており、歌の好きな健常の子どもたちも参加しています。ハートネットTV「一緒に歌おう!〜聞こえない子と見えない子の合唱団」では練習風景からコンサートまでを紹介されました。障害のある仲間の中で、子どもたちが未来に向けた様々な力を発揮していけるようお手伝いします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

多様な人々とのかかわりの中で、子どもの成長を見守る

エル・システムの音楽教育はグローバルに展開しており、国際交流の機会もあります。昨年12月、東京芸術劇場でのエル・システムフェスティバルには、盲者3名含むベネズエラのコーラス・アンサンブルや、東日本大震災の被災地である相馬や大槌、長野県駒ヶ根の子どもオーケストラと共演しました。今後も様々なコラボレーションを促進しつつ可能性を広げ、今年はベートーヴェンの交響曲第9番(第4楽章「喜びの歌」)等の世界観にも、挑戦していきたいと思ひます。

コロンりか エル・システム ジャパン芸術監督(ホワイトハンドコーラス)

ベネズエラ生まれ。聖心女子大学・大学院で教育学を学んだ後、英国王立音楽院、声楽科修士課程を優秀賞で卒業。同年ウィグモアホールデビュー。モーツァルト・フェスティバル(ブリュッセル)、宗教音楽祭(フィレンツェ)、日英国交150年記念メサイア(ロンドン)でソリストを務めるなどヨーロッパと日本を中心に国際的に活躍するソプラノ歌手。これまでバリ・オペラ座メンバー、国内の主要オーケストラはじめ、キラ・テ・カナワ、ジョン・パエスなどと共演。代表曲は父エリック・コロンが平和への願いを込めて作曲した「被爆マリアに捧げる賛歌」でCD出版されている。聖心女子大学在学中は「聴覚障害の子どもと音楽」について研究し、ワークショップを行ったり、コンサートで共演するなど長年関心をもって取り組んでいる。現在4児の母。

いさき てつや

井崎哲也 東京ホワイトハンドコーラス指導担当

佐賀県出身、東京教育大学附属豊学校卒業。1974年、東京パントマイム研究所でパントマイムを習い、1980年には「東京ろう演劇サークル」(1981年に「日本ろう者劇団」に改称)の設立に参加する。1982年よりアメリカ合衆国のプロろう者劇団「ナショナル・シアター・オブ・ザ・デフ」のメンバーとして1年半参加した後、日本ろう者劇団に復帰する。日本ろう者劇団の顧問を務めている。なお、NHK教育テレビジョンの手話講座番組「NHKみんなの手話」に、講師として出演していた他、1995年日本テレビのドラマ「星の金貨」の手話指導も手がけた。2009年の映画「ゆずり葉-君もまた次のきみへ-」には、ろう者連盟の大川事務局局長役で出演している。

つちのけんじ

土野研治 東京ホワイトハンドコーラス指導担当

1955年東京生まれ。NHK東京放送児童合唱団第13期生に在籍し放送やレコーディングに参加した。1978年国立音楽大学声楽科卒業。NHK洋楽オーディション(1981年)、日本演奏連盟新人オーディション(1984年)に合格。東京(ルーテル市谷センター、音楽の友ホール)、京都(清水寺大講堂円通殿)などで独唱会を行っている。1978年から埼玉県内の特別支援学校に勤務し音楽療法の実践研究を行う。その業績に対して、第2回音楽教育振興賞、埼玉県教育委員会教育長表彰、下総統一音楽賞を受賞。2009年にスカンジナビア・ニッポン ササカワ財団の助成により「日瑞音楽交流プロジェクト」を設立し、東京(2009年・2013年)、マルメ、ナッカ(2010年)などでコンサートおよび音楽療法士との交流を行った。現在、日本大学芸術学部教授、平成音楽大学客員教授、日本音楽療法学会常任理事、日本芸術療法学会理事、日本演奏連盟会員、日本仏教看護ビハラー学会会員。著書に「心ひらくピアノ〜自閉症児と音楽療法士との14年」「障害児の音楽療法-声・身体・コミュニケーション」(春秋社)がある。

ふるはしふじお

古橋富士雄 エル・システム ジャパン芸術監督(コーラス)

指揮者1943年東京に生まれる。指揮法を斎藤秀雄、作曲を島岡譲、ピアノを宮島敏の各氏に師事。これまでに原信子オペラ研究所の専属ピアニスト、NHK東京児童合唱団常任指揮者(音楽監督)、桐朋学園大学音楽学部講師、東京家政学院短期大学講師、日本合唱指揮者協会理事、浜松市アクティビティ音楽院音楽監督、NHK「Nコン on the Web」の解説者を歴任する。現在10の合唱団の音楽監督を務める他、全国各地の講習会、コンクールの審査等、常に合唱界の指導的立場を担っている。現在NHK東京児童合唱団名誉指揮者、日本合唱指揮者協会常任相談役、日本コダイ協会理事。著書に「合唱のための外国語作品が解る本」「必ず役に立つ合唱の本=日本語作品編」「合唱のための実践練習書=混声編・女声編・男声編」がある。

東京芸術劇場

東京芸術劇場は、世界最大級のパイプオルガンを有するコンサートホールのほか、演劇・舞踊等のための3つのホール、4つの展示スペースを備え、展示や講座、ワークショップ等、上演以外の芸術活動も行うことができる複合的な芸術文化施設です。芸術文化の創造発信事業のほか、人材育成・教育普及、福祉、社会包摂事業にも力を入れており、2008年にドゥダメル率いるシモン・ポリバル響の初来日公演を開催して以降、13年、15年、17年と継続的にエル・システム・フェスティバルを開催しています。フェスティバルでは、コンサートのほか、シンポジウムやワークショップを通じ、エル・システムの活動や理念を広く紹介しています。

Web: www.geigeki.jp

Facebook: @geigeki

Twitter: @geigeki_info

東京芸術劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

TokyoTokyo
Road to
FESTIVAL

エル・システムジャパン

エル・システムは、1975年、貧困や治安の悪化という問題を抱えていた南米ベネズエラで、子どもたちを守るために始まった音楽教育プログラム。現在では、70以上の国・地域でエル・システムの理念に基づいた音楽教育が実施されています。日本では、東日本大震災で被災した子どもたちが音楽での経験を通して、自信や尊厳を回復し自分の人生を切り開いていく力を育むことを当初の目的に、2012年よりエル・システムジャパンとして、福島県相馬市、岩手県大槌町、そして、2017年より長野県駒ヶ根市でも活動を開始しました。家庭の事情にかかわらず、どんな子どもも音楽に触れられること、皆で奏でるオーケストラやコーラスの形で学んでいくことを大切に、自己表現の場として、そして音楽が人と人をつなぐことを目指しています。

Web:

www.elsistemajapan.org

Facebook: @elsistemajapan

Twitter: @EISistemaJapan



共生社会をめざす芸術活動

東京
ホワイトハンド
コーラス

主催: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、トット基金/日本ろう者劇団、一般社団法人エル・システムジャパン

協賛: アサヒグループホールディングス株式会社、キッコーマン株式会社、トヨタ自動車株式会社

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

文芸春秋